

『おでかけ見守り事前登録』

で、認知症高齢者の方の早期発見・早期保護を！

この事業は、認知症高齢者の方が、徘徊などで行方不明になったとき、早期発見できるように、認知症高齢者の方の情報を事前に登録し、本人の安全と家族の支援を図ることを目的としています。

登録された情報を、事前に長井警察署へ提供し、高齢者が行方不明等になった場合に、その情報をもとに捜索を開始することになります。

○利用できる方

認知症等により徘徊や行方不明になるおそれのある在宅で生活する高齢者とその家族

○利用の手続き

地域包括支援センターの職員がご自宅に伺い、聞き取りや高齢者の写真撮影を行います。

○高齢者の行方がわなくなったとき

長井警察署にためらわず連絡してください。事前登録された情報により捜索します。

白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク



お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

認知症・介護に関するご相談は
地域包括支援センター Tel.86-0112

『ふれあいいいききサロン』に参加して、閉じこもりを予防しましょう！

「高齢の方の閉じこもり」の予防として、地域で開催されている『ふれあいいいききサロン』を紹介します。

サロンは社会福祉協議会が窓口になり、現在29か所が登録し、主に分館を会場に月1回程度「集い憩いの場」として開催されています。今年度は荒砥八幡一のサロンが新しく加わりました。

サロンでは、ボランティアの方が中心となり、季節の行事や、町内で活動する団体の出し物の鑑賞、健康づくり推進員と合同の活動等、毎月様々な内容で開催されています。また、運動・口腔・栄養改善について専門家によるお話や実技指導も受けています。

地域での集まりは、防災防犯上でも、地域のつながりを強くします。ぜひ足を運んでみてください。

■問い合わせ健康福祉課地域包括支援センター ☎86-0112



▲専門家による介護予防の運動指導を受けています

R

しらか4R情報

地球温暖化、気候変動、資源の枯渇など私たちの生活において、さまざまな環境問題が懸念されます。

中でも、身近な問題の一つがごみについてではないでしょうか。減少傾向にある人口に対し、1人あたりのごみ排出量は増加傾向にあります。

ごみの増加により、焼却処分や埋立処分の必要性が大きくなり、環境に多大な負荷をかけることとなります。

日常生活をおくる上で、ごみの排出は避けることができませんが、1人1人が自覚をもってごみ排出に責任をもち、美しい環境を次世代へつないでいきましょう。

〈4Rを実践しましょう！〉

4Rとは、3R（リデュース・リユース・リサイクル）をさらに進め、必要のないものを断るという「リフューズ」を加えた考え方です。ごみのもととなるものを家庭や事業所へ持ち込まないという考え方をすることで、結果として、ごみを出さずにすみます。

4Rを実践して、ごみ減量に取り組むことが大切です。

最初のR：リフューズ (Refuse:断る)

…不要なものは断り、ごみを出さない

2番目のR：リデュース (Reduce:ごみを減らす)

…工夫してごみを減らす

3番目のR：リユース (Reuse:再利用)

…繰り返し使う、修理して使う

最後のR：リサイクル (Recycle:再資源化)

…別の資源として活用する



たとえば1人1日10g（コピー用紙2枚程度）のごみを減らすだけで、町全体の排出量に大きな影響が出ます。文字どおり「塵も積もれば山となる！」

R

R

■問い合わせ 町民課くらし環境係 ☎85-6131